

製品名: JAK2 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM84993

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	JAK2
別名	JAK2; Tyrosine-protein kinase JAK2; Janus kinase 2; JAK-2
遺伝子 ID	3717.0
SwissProt ID	O60674
免疫原	KLH に結合した合成ペプチド。

背景

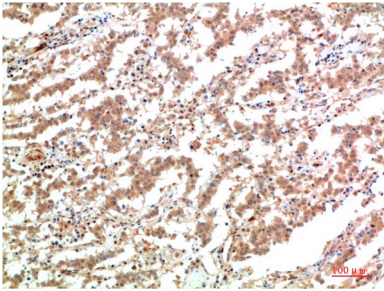
リン酸化 STAT はホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、核に移行して遺伝子転写を活性化します。例えば、赤血球生成中のエリス

ロポエチン（EPO）による細胞刺激は、JAK2 の自己リン酸化と活性化を引き起こし、細胞質ドメインがリン酸化されるエリスロポエチン受容体（EPOR）と結合します。次に、STAT5（STAT5A または STAT5B）が JAK2 にリクルートされ、リン酸化され、活性化されます。

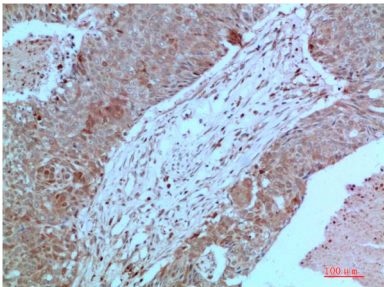
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

画像データ



JAK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



JAK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。